

WHO ファクトシート

予防接種率

Immunization coverage

2017年7月

重要な事実

- ・予防接種により、子宮頸がん、ジフテリア、B型肝炎、はしか、おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）、百日咳、肺炎、小児麻痺（ポリオ）、ロタウイルス性下痢、風疹、破傷風といったワクチンで予防できる疾病の発症及びそれに伴う障害や死亡を防ぐことができる。
- ・世界の予防接種率は86%で停滞しており、過去1年間に大きな変化はなかった。
- ・新しいワクチンやこれまで十分に使われていなかったワクチンの採用が増加している。
- ・予防接種により毎年約2～3百万人の命が救われている。しかしながら、世界の予防接種率が向上すれば、更に150万人の命を救うことができる可能性がある。
- ・世界でまだ1950万の乳幼児が基本的ワクチン接種を受けられないでいる。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Immunization coverage ファクトシート原文は [こちら](#)